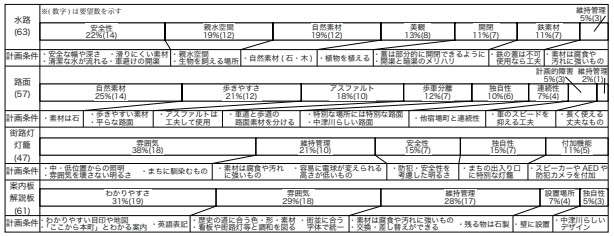
東側・南側立面

中津川→

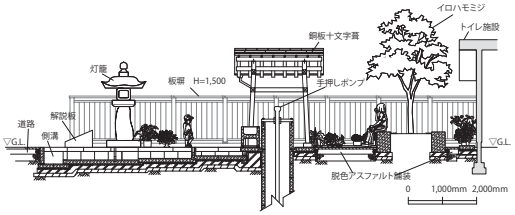
西側・北側立面

四ツ目川→

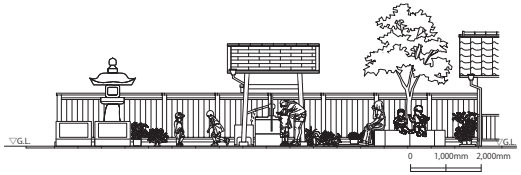
N邸修景前東側立面図　N邸修景後東側立面図



街路空間の計画条件



親水空間A-A'断面図



親水空間立面図

N邸修景案(2009年)

本町中山道地区に住む施主がどのように建物を修景していきたいのかを伺い、それに沿う修景案を提案しながら、街の景観に合う積極的な提案を行った。

計3回のインタビュー調査を行い、施主の意向を傾聴しこちらも提案をして意見の擦り合わせを行った。

N邸の修景内容は、まず色彩については、1)外壁は現状の色味より少し濃いものとする　2)1階開口部、2階バルコニーの格子の色味は茶系の明度の低いものとする　3)上階バルコニーは1階の格子に使用した色彩より明度の高いものとする。

次にファサードについては、1)1階の開口部に格子を設ける　2)1階の開口部の上に庇を設ける　3)2階バルコニーに格子を設けることを設定した。

街路空間の修景(2010年)

中津川市が行う本町中山道地区における街路空間の公共整備に対して、住民の整備要望を把握し、まちの将来像を作成することにより、計画条件を明確化することを行った。まず、街路空間の現状を把握するために現地調査を行った。現地調査の結果、公共的な要素として、水路、街路灯、灯籠、案内板、解説板、電柱、路面の7種類を収集した。

現地調査の結果を踏まえて、公共整備に対する住民の整備要望を把握するために、みちづくりワークショップを計3回行った。ここでは、「水路」、「路面」、「街路灯・灯籠」、「案内板・解説板」を整備対象として、それらの整備要望を収集した。その後、ワークショップで収集した要望を基に公共整備に対する将来像の計画条件を導いた。

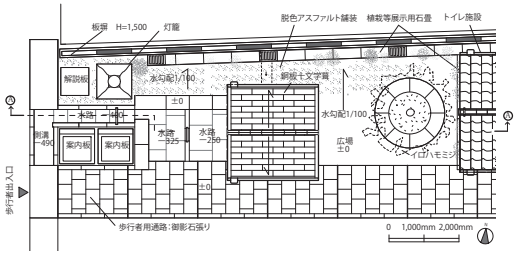
実際に対象地区に住む住民から公共部分に対する要望を収集したことにより、まちの現状の細かな問題点に対する要望や住民自らが維持管理できるようにしたいという要望、来訪者をもてなすための要望など、公共整備後に住民や来訪者などが公共要素を有効かつ長期的に使用していくことを想定した計画条件を得た。

親水空間の設計(2010年)

これまでのワークショップの結果、現在計画されている公共駐車場に親水空間を設けることとなった。

そこで今までに得た意見に基づき、駐車場に設ける親水空間の実践案の作成を行った。ここでは、まちの案内板・解説板、水と触れ合える井戸や水路、休憩ができるベンチなどを設けた。

親水空間の提案は、2010年12月22日に市役所、民間に直接説明し提出した。今後提案した親水空間や計画条件に基づき、公共整備が進められる。



親水空間屋根伏図

名古屋工業大学景観研究チーム

松本　直司
東　美緒　深見　直子
瀬田　恵之　小田　憲治
栢木　亜衣　田川　哲郎
布村　圭祐　藤井　ちひろ
前田　将嗣　渡辺　悠司
長谷川博一　高北　卓軌
伊藤　美穂　楓　宗一郎
館　ゆみ子　森　一晃
吉永　明典　岩井　一樹
林　絵美菜　福元　彩
木村　彰宏　田中　雄基

名古屋工業大学　松本直司研究室